

【報道関係各位】

《取材のご案内》

平成 27 年 3 月 吉日
株式会社土屋ホーム

北海道「平成 26 年度環境・エネルギープロジェクト形成促進事業」
**『積雪寒冷地型ネット・ゼロ・エネルギーハウス』
リフォームモデル住宅の完成と内覧会のご案内**

■日 時：平成 27 年 3 月 20 日（金）10：30～12：00

■場 所：札幌市手稲区西宮の沢 4 条 1 丁目 153-3（STV ハウジングプラザ宮の沢内 土屋ホーム）

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、北海道が実施する「平成 26 年度環境・エネルギープロジェクト形成促進事業」と、札幌市が実施する「平成 26 年度札幌型新エネルギー産業開発支援事業」で採択された、株式会社土屋ホーム・北海道ガス株式会社・株式会社土屋ホームトピアの 3 社で設立したコンソーシアムの『既存住宅のスマート化によるスマートシティ推進事業』で開発された全国でもまだ例のない、既存住宅のリフォームによるネットゼロエネルギー化を実現したリフォームモデル住宅が完成致し、事業の説明を兼ねました内覧会を STV ハウジングプラザ宮の沢内 土屋ホームモデルハウス（札幌市手稲区西宮の沢 4 条 1 丁目 153-3）で開催させていただきます。

つきましては、マスコミの皆様には是非ともご取材いただきたく、ご案内状をお送りさせていただきます。

ご多用の折、誠に恐縮ではございますが、万障お繰り合わせの上、ご来場賜りますようお願い申し上げます。

敬具

■主なプログラム

- 「既存住宅のスマート化によるスマートシティ推進コンソーシアム」の説明
- 「積雪寒冷地型ネット・ゼロ・エネルギーハウス」リフォームモデル住宅と事業計画の説明
- 質疑応答

◆本件に関するお問い合わせ先◆

株式会社土屋ホーム 企画広報部 担当：佐藤

電話：011-717-3313

■『積雪寒冷地型ネット・ゼロ・エネルギーハウス』 リフォームモデル住宅の概要

大容量の太陽電池の創エネでプラスマイナスゼロにするのではなく、家そのものが省エネであり、最小コストでゼロエネルギーを実現するため、下記3点の主要技術を実証しました。

北海道のエネルギー消費は全国平均の約2倍であり、その主要因は暖房が約4.6倍、給湯が約1.5倍になっていることにあります。今回の実証では、その暖房と給湯の消費エネルギーを約50%削減しました。

1. ネットゼロエネルギーリフォーム

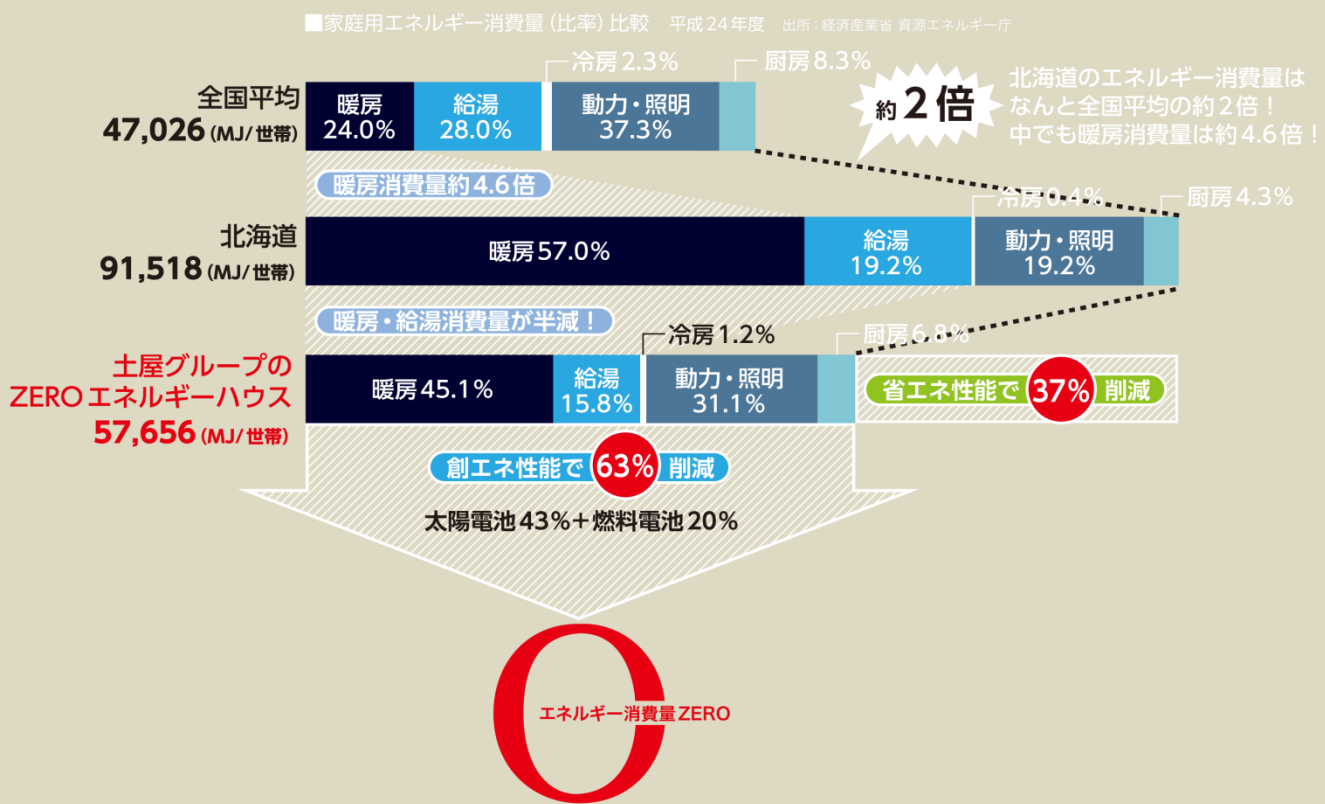
(真空充填断熱+外断熱のW断熱改修、高性能窓改修、高効率熱交換換気により、リフォームでUA値0.19、Q値0.7を達成)

2. 燃料電池の給湯・暖房兼用

(燃料電池のバックアップ熱源による低温水高効率暖房で平均COP2.2のヒートポンプと同等を達成)

3. 太陽電池の屋根・壁設置

(両面受光型太陽電池を屋根と壁に設置し、冬期間の雪面反射光効果を活用した冬期間発電量の最大化)



■『積雪寒冷地型ネット・ゼロ・エネルギーハウス』の市場経済性と顧客価値

この住宅が普及していくための生活コスト試算は下記のとおりです。購入価格は500万円増となり、月々の住宅ローンの支払いが6万6千円から8万1千円と1万5千円増えますが、逆に光熱費3万5千円はゼロになり、家計の総支出額で考えると月々2万円の減、35年間で840万円の減となります。

